

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月29日

計画の名称	幸田駅前の顔となる中心市街地における利便性の向上、にぎわいの再生、安全で安心なまちづくりの実現（防災・安全）						R2. 2. 4非重点へ						
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）						重点配分対象の該当	○					
交付対象	幸田町												
計画の目標	幸田町の顔というべき中心市街地において土地区画整理事業を進め、幸田駅へのアクセス道路でもある都市計画道路の整備（歩道設置、無電柱化など）を行うことにより利便性の向上と、安全で安心なまちづくりの実現を図る。また、幸田駅の前面の土地利用において商業系利用を推進し、にぎわいの再生へと繋げる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	648	A	648	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	幸田駅前の交差点の朝の通勤・通学時間帯（午前6時から午前8時30分）における渋滞回数を13回から10回へ減少 幸田駅前交差点の朝の通勤時間帯における渋滞回数を調査する 渋滞回数＝一回の信号で交差点を通過できない場合の回数	13回	回	10回
2	幸田駅前における歩行者自転車交通量を2,150人/日から2,250人/日へ増加 幸田駅前における歩行者自転車交通量を調査する	2150人/日	人/日	2250人/日
3	幸田駅前土地区画整理事業地内の歩道安全対策率を増加させる 幸田駅前土地区画整理事業地内の歩道安全対策率を調査する 歩道安全対策率＝電線共同溝実施延長/幹線道路における歩道延長	18%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	幸田町	直接	幸田町	区画	改築	幸田駅前地区 ( (都) 芦谷高力線ほか1路線) (1-A-1)	区画整理A=2.9ha	幸田町	■	■	■	■	■	648		—	
												小計						648		
											合計						648			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	
配分額 (a)	106	26	67	13	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	106	26	67	13	
前年度からの繰越額 (d)	0	20	0	23	
支払済額 (e)	86	46	44	36	
翌年度繰越額 (f)	20	0	23	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	23	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	34.32	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			工事箇所の再検討する必要があったため		